没後１年／

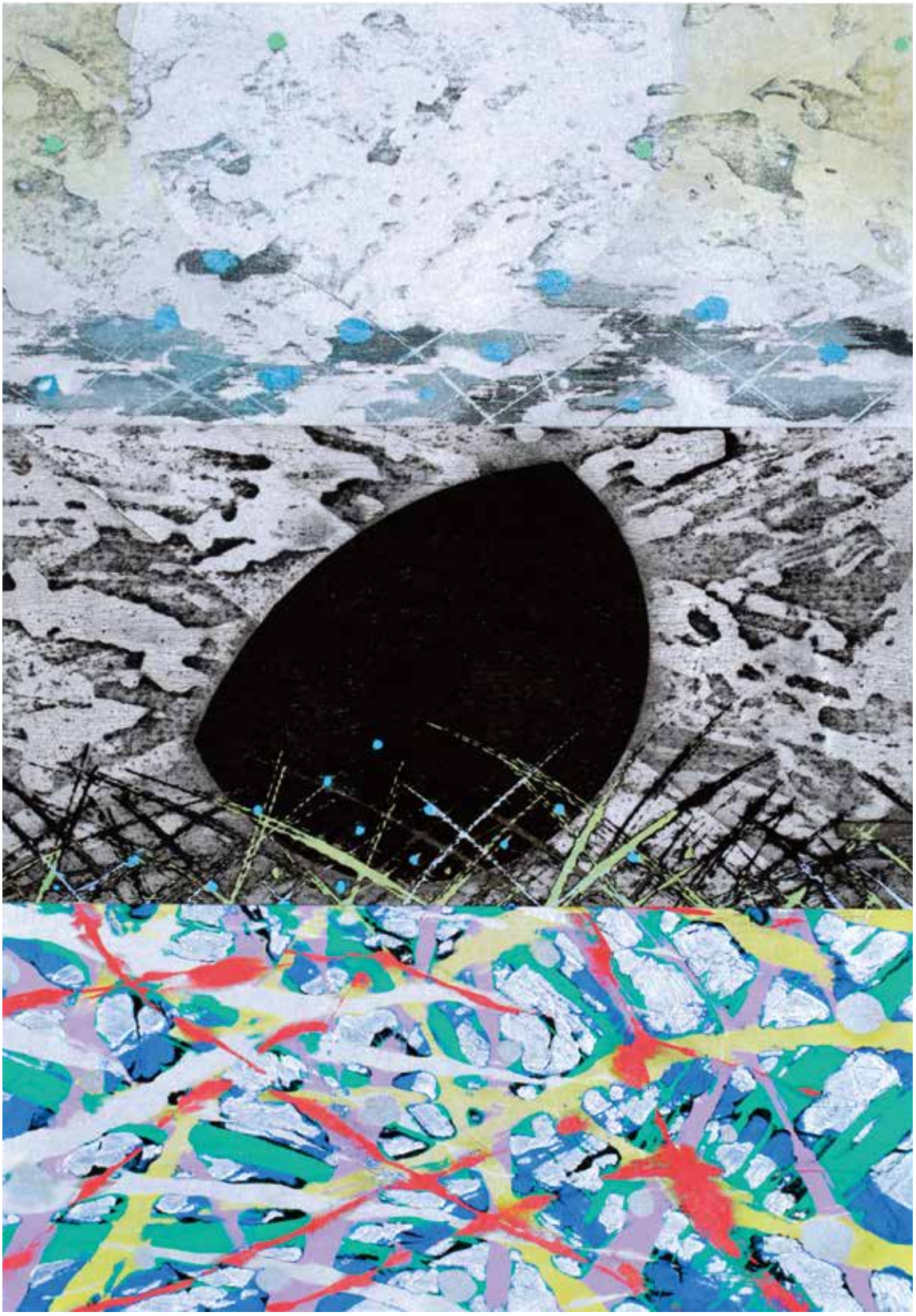
喜多方市美術館 収蔵作品展 × 特別出品

版画家・長谷川雄一の世界

2026.12.19 sat — 2027.1.17 sun

開館時間｜10：00〜18：00（最終入館は 17：30 まで）　休 館 日｜水曜日 、12/28（月）〜1/4（月）　主 催｜喜多方市美術館
観 覧 料｜一 般 400 円、小・中・高校生 100 円、65 歳以上 75 歳未満 200 円、75 歳以上・未就学児 無料

YUICHI HASEGAWA



長谷川雄一〈新生伝〉2023 年 木版・楮紙・油絵具

Challenge

一枚の版木から生み出される多彩な世界

長谷川雄一は、版画家・斎藤清の作品に感銘を受けて版画制作を始め、一版多色刷の技法を完成させました。
故郷会津若松市でさまざまな仕事を続けながら、福島県総合美術展や国内外の個展を舞台に精力的に制作活動を重ねます。
44 歳のとき、奥会津の三島町にアトリエ「子午線工房」を構え、版画制作に専念します。
その時、工房の黒板に「Challenge」という言葉を書き記しました。

本展では、没後 1 年を機に約 60 年にわたる画業を約 100 点の作品・資料で振り返ります。長谷川氏が挑み続けた版画の世界から、氏の「Challenge」の軌跡をぜひご覧ください。



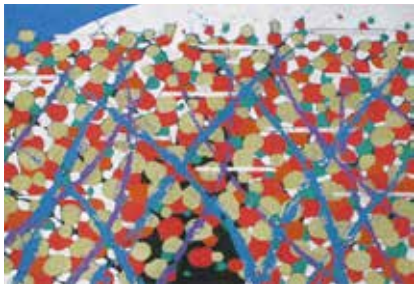
長谷川雄一

（1945-2025）

福島県会津若松市生まれ。1964 年、荒川三郎に水彩画を学ぶ。
1968 年、斎藤清に私淑し、版画を始める。1972 年、第 26 回福島県総合美術展に出品。1981 年、第 35 回福島県総合美術展で福島県美術大賞受賞。
2006 年、当館にて「長谷川雄一木版画展」開催。原版彫り進めによる多色刷り木版技術で高い評価を受け、国内外の美術館に作品が収蔵されている。
2025 年 8 月、80 歳で逝去。



〈方法 814〉1981 年 当館蔵



〈春に ‘13〉2013 年 作家ご遺族蔵



〈凪ぐ〉2025 年 作家ご遺族蔵



〈雪の譜〉1989 年 個人蔵



〈夏夕べ〉原版
2014 年
作家ご遺族蔵

展示のみどころ

◇ ご遺族や旧友の方々のご協力により、貴重なコレクションを特別出品。新収蔵作品と交えて初期から晩年までの作品群を展望します。
◇ 制作道具や原版を大公開。「一版多色刷」の技法に迫ります。
◇ 氏の貴重な油彩画や工房に飾られていた師・斎藤清の作品も紹介。

スペシャルコメント

生前、親交が深かった作家仲間の方々から追悼の言葉をお寄せいただきました。あわせて、「私の好きな長谷川作品」についてもコメントをいただきました。

学芸員によるギャラリートーク

日　時：令和 8 年 12 月 20 日（日）、令和 9 年 1 月 9 日（土）
　　各日 10：30～
会　場：喜多方市美術館展示室
参加費：無料 ※申込不要・当日入館料が必要です。

※出品作品および内容が変更になる場合があります。

◇次回展覧会のお知らせ
「高校生・あいづ美術展」 令和 9 年 1 月 28 日(木)～2 月 9 日(火)
※詳細は美術館 HP をご覧ください。

その他のイベント

クロストーク「アートで何する、何できる」

内　容 ● 喜多方・会津でアートと社会をつないでいる実践者と喜多方市美術館のこれからについて語ります。
日　時 ● 令和 9 年 1 月 17 日（日）15：30～17：30
会　場 ● 喜多方市美術館
参加費 ● 無料 ※申込不要・当日入館料が必要です。
ゲスト ● 小池アミイゴ氏（イラストレーター・画家）
トークする人 ● 矢部佳宏氏（西会津国際芸術村ディレクター）
天水みちえ氏（ぴあっともくもく主宰）
五十嵐恵太氏（空のある生活代表）
福田啓道氏（株・マルフク代表取締役）

交　通　案　内

・JR 喜多方駅から約 1.5 km　徒歩 20 分　タクシーで 5 分
・磐越自動車道会津若松 IC から約 19 km　車で 25 分
・磐越自動車道会津坂下 IC から約 20 km　車で 25 分
・会津縦貫道喜多方 IC から約 4 km　車で 10 分

＊駐車場のご案内
お車で来館されるお客様は、喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください。



喜多方市美術館

〒966-0094　福島県喜多方市字押切 2-2
Tel.0241-23-0404　Fax.0241-23-0406
URL: http://www.kcmofa.com/